



## 年頭に当たって

(一社) 日本養鶏協会 会長 杉原 勲



あけましておめでとうございます。  
昨年中は格別のご厚情にあずかり心からお礼申し上げます。  
令和4年の年頭に当たり、ご挨拶を申し上げます。

昨年7月に開催された第72回定時総会・理事会で会長に選任されました杉原です。皆様のご協力を賜り養鶏業界を盛り上げていく所存ですので、よろしくお願いいたします。

さて、昨年11月から秋田県を初発とし全国的に高病原性鳥インフルエンザが発生しています。昨年末に会員生産者の方々に会長名で飼養衛生管理の徹底を訴えましたが、今後の感染拡大の勢いは予測できません。それぞれの経営の中で緊張感をもって飼養衛生管理の徹底を図り、ウイルス危機を乗り越えていただきたいと思います。被災された生産者の方には心よりお見舞いを申し上げます。

日本養鶏協会は協会独自の鳥インフルエンザ経営再建保険を扱っています。この機会に当協会の会員の方は、もしもの時に備えて家畜防疫互助基金と併せてこの団体保険に加入していただければと思います。

次にアニマルウェルフェア (AW) については昨年動きがありました。令和元年11月に採卵鶏のOIEコード3次案が公表され、それまでの巣箱や止まり木の設置の義務化から、設置は望ましいとする内容に変更されました。昨年5月の第88回OIE総会では、この内容について各国から多様な意見が出て採択には至りませんでした。

AWについては多くの議論がされています。日本養鶏協会は、AWは当協会の取り組む重要課題の一つと捉え、栄養バランスに優れた基本食材である卵を国民の皆様にも適正価格でかつ世界で唯一生食が可能である衛生的な状態で届けることが基本だと考えています。

最後に卵価についてです。昨年は鳥インフルエンザの影響で2月から7月にかけて卵価は上伸し、それ以降は底堅い動きであるものの低調に推移しています。昨年当協会が発行した鶏卵需給の見通しでは、昨シーズンの鳥インフルエンザからの回復と鶏卵需要の動向から、今年は需給のミスマッチが生じ、卵価低落が避けられないとしており今後の需給動向に目が離せません。また昨年からの配合飼料価格が高騰しており、現実の生産費を償える卵価水準を取り戻さなければ経営の安定は見込めません。

昨年12月には、高病原性鳥インフルエンザの防疫体制の徹底、鶏卵生産者の経営安定などを強く国に要望しました。

鶏卵生産者の皆様わけても中小規模の鶏卵生産者の方々が安心して地域に根差した生産を継続していくためにも、この難局を乗り越えなければなりません。

本年も、消費者の皆様をはじめ関係各位にはより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、日本養鶏協会会員一同心よりお願い申し上げます。

鶏卵生産者の皆様には2022年が実りある年になりますよう、皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



INDEX

- ・令和4年度 畜産物価格等に関する要請について..... 2
- ・令和4年度 農林水産予算概算の決定について..... 3
- ・令和4年度 鶏卵の補填基準価格及び安定基準価格の答申について..... 4
- ・配合飼料供給価格の動向 ..... 4
- ・令和3年度成鶏更新・空舎延長事業発動について..... 5
- ・高病原性鳥インフルエンザ発生状況 ..... 6
- ・たまご知識普及会議 メディア掲載情報 ..... 7
- ・外部研究会のお知らせ-第16回日本たまご研究会(Egg Science Forum 2021)..... 8
- ・統計データ ..... 9
- ・協会活動報告 ..... 10

## 令和4年度 畜産物価格等に関する要請について

令和3年12月7日、自民党畜産・酪農対策委員会（伊東良孝委員長）が自民党本部で開催され、14日には自由民主党畜産振興議員連盟総会（森山裕会長）が衆議院第一議員会館で開催されました。

（一社）日本養鶏協会の杉原会長は、令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業に係る基準価格の決定に当たり、下記の要望書を提出しました。

令和3年12月

### 令和4年度 畜産物価格等に関する要請

一般社団法人 日本養鶏協会 会長 杉原 勲

我が国の養鶏産業の振興につきましては、日頃より格別のご支援ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

鶏卵需給は、コロナ禍の影響やうち続く高病原性鳥インフルエンザの発生により先を見通せない厳しい状況にあります。その上、養鶏の経営費の5割を占める配合飼料価格の高騰で価格転嫁もままならず厳しい経営状況に陥っています。

こうしたことを踏まえ、来年度の基準価格決定を含め畜産政策の策定に当たり、以下の点について特段のご配慮をお願いします。

#### 1. 鶏卵生産者経営安定対策事業について

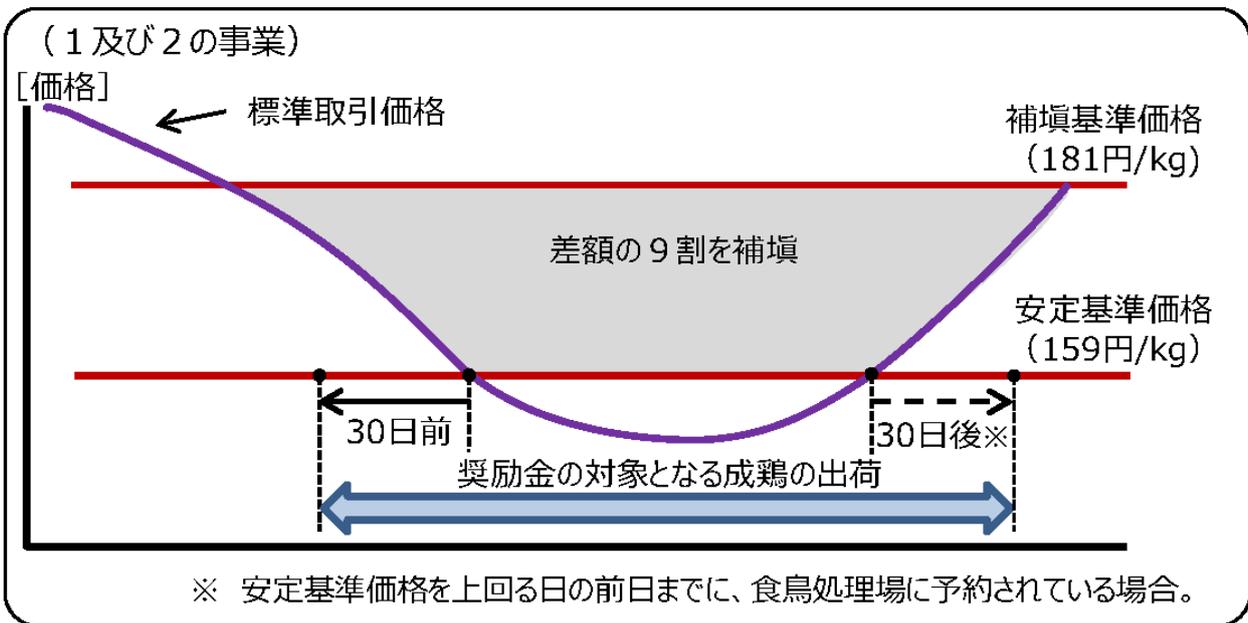
- (1) 鶏卵生産者の経営安定を確保し、成鶏更新・空舎延長事業の効果を発揮し鶏卵需給の安定を図れるよう、十分な予算を確保すること。
- (2) 基準価格の決定に当たっては、近年の卵価動向を踏まえ、生産コストに見合った鶏卵の再生産が可能な水準とすること。



2. 高病原性鳥インフルエンザの蔓延を抑え、防疫措置の徹底と被災農家の経営再建が図れるよう十分な予算措置を図ること。
3. 持続可能な養鶏産業の推進について
  - (1) 地域の循環型農業に資するため、耕種農家による鶏糞の地域利用を促進し、併せて規模の大小によらず鶏卵生産者が鶏糞輸出にも取り組みやすい環境整備を図ること。
  - (2) 配合飼料価格安定制度の継続・改善を図り、配合飼料価格の激変緩和措置を講じ、経営の持続的な安定を図ること。

## 令和4年度 農林水産予算概算の決定について

令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の所要額は、前年度と同額の51億7千万円が計上されました。事業内容は、令和3年度と変更はありません。





## 令和4年度 鶏卵の補填基準価格及び安定基準価格の答申について

農林水産省は、「食料・農業・農村政策審議会畜産部会」（令和3年12月24日開催）の答申を受けて、鶏卵価格が低落した場合に発動基準となる、「鶏卵価格差補填事業」の補填基準価格及び「成鶏更新・空舎延長事業」の安定基準価格を決定しました。

この部会では加工原料乳の補給金単価、肉用子牛の基準価格等も決められましたが、全畜種が前年度据え置きで、養鶏の基準価格についても令和4年度の補填基準価格は181円/kg、安定基準価格は159円/kgと前年度据え置きでした。

なお、配合飼料費の高騰が今回の基準価格の上げ要因になると推測されました。しかし、配合飼料費の上昇分の多くは、配合飼料価格安定制度により補填されていることから、顕著な上げ要因にはならなかったと推測できます。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度
補填基準価格	181円/kg	181円/kg	183円/kg	185円/kg
安定基準価格	159円/kg	159円/kg	161円/kg	163円/kg

## 配合飼料供給価格の動向

令和4年1～3月期の配合飼料供給価格については、飼料情勢・外国為替情勢等を踏まえ、令和3年10～12月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり2,900円値上げすることを決定しました。なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

単位：円/平均トン（前四半期比較）

区分	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
令和4年	↑2,900			
令和3年	↑3,900	↑5,500	↑4,700	▼1,250
令和2年	↑700	▼800	▼1,000	↑1,350
令和元年	↑500	▼850	▼400	▼650
平成30年	↑1,500	↑1,100	↑1,550	▼800

出典：全国農業協同組合連合会（JA全農）「配合飼料供給価格」

### ■ [令和4年1～3月期の配合飼料供給価格改定について](https://www.zennoh.or.jp/press/release/2021/86987.html)

<https://www.zennoh.or.jp/press/release/2021/86987.html>



## 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業発動について

令和4年1月5日の鶏卵の標準取引価格(日ごと)が137円/kgとなり、安定基準価格159円/kgを下回りましたので、成鶏更新・空舎延長事業が発動になりました。

このため、業務方法書に定める対象となる成鶏を令和3年12月6日から安定基準価格159円/kgを上回る日の前日までに食鳥処理場に申請を済ませ、なおかつ上回った日の30日後までに食鳥処理場にて食鳥処理された成鶏が、本事業の対象となります。

なお、事業に参加する生産者にとっては、別途お送りしました「令和3年度成鶏更新・空舎延長事業参加通報書」に必要事項を記入の上、Faxまたは郵送にて当協会へ速やかに通報するとともに、出荷完了後30日までに事業参加(兼奨励金交付)申請書等の書類を提出いただきますようお願いいたします。

また、食鳥処理場への申込・出荷に当たっては、令和3年12月6日から安定基準価格を上回る日の前日までに「令和3年度成鶏更新・空舎延長事業参加に係る成鶏の出荷計画申込書」により食鳥処理場に対して申込、承諾を得る必要があります。その際、食鳥処理場の過重労働等にならないよう関係法令等に留意しつつ、食鳥処理業者と十分に調整の上、計画的な出荷をお願いします。

### 【書類提出の手順】

- ① まず、「事業参加通報書」にて参加の意思を必ず当協会へ提出してください。
- ② 出荷完了後30日以内に提出するもの  
(別途用紙を今月中旬以降に郵送します。協会WEBでダウンロードすることも可能)

1. 事業参加申請書(別紙様式第5号)
2. 成鶏更新・空舎計画兼実績(別紙1)
3. 保有鶏舎ローテーション表
4. 対象鶏舎へのひな導入予定がわかるもの(注文書等)
5. 食鳥検査報告書(別紙様式第7号)又は、食鳥処理証明書(様式第8号)
6. 対象鶏舎出荷時及び空舎時の写真(日付入り)
7. 成鶏更新・空舎延長事業参加に係る成鶏の出荷計画申込書  
(10万羽未満の生産者のみ)
8. 保有鶏舎ごとの面積及び設備を記載した図面  
保有鶏舎ごとのいずれかの写真 (1) ケージ全体、(2) ケージ区画単位

### ■ [鶏卵生産者経営安定対策事業 成鶏更新・空舎延長事業](https://www.jpa.or.jp/stability/documents.html)

<https://www.jpa.or.jp/stability/documents.html>

【お問い合わせ】 業務第1部 Tel : 03-3297-5515



## 高病原性鳥インフルエンザ発生状況

令和3年度の国内における、高病原性鳥インフルエンザ発生状況を下記の表のとおり、お知らせします。

12、1月においても計8例（合計12例）発生しております。会員各位におかれましては、今般の事例を踏まえ、改めて以下の強化・徹底をしていただくようお願いいたします。

- ① 早期発見・早期通報の徹底
- ② 家きん飼養農場の防鳥ネット及び破損箇所の確認と修繕
- ③ ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底
- ④ 農場周辺の消石灰散布の徹底

地域	疑似患畜判定日	用途	羽数	病原性	亜型
秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約 14.3 万羽	HPAI	H5N8
鹿児島県出水市	11/13	採卵鶏	約 3.8 万羽	HPAI	H5N1
鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約 1.1 万羽	HPAI	H5N8
兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約 15.5 万羽	HPAI	H5N1
熊本県南関町	12/3	肉用鶏	約 6.7 万羽	HPAI	H5N1
千葉県市川市	12/5	あひる（アイガモ）	約 0.03 万羽	HPAI	H5N1
埼玉県美里町	12/7	採卵鶏	約 1.7 万羽	HPAI	H5N1
広島県福山市	12/7	採卵鶏	約 3.0 万羽	HPAI	H5N1
青森県三戸町	12/12	肉用種鶏	約 0.7 万羽	HPAI	H5N1
愛媛県西条市	12/31	採卵鶏	約 13 万羽	HPAI	H5N1
愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約 8.3 万羽	検査中	H5
愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約 14.2 万羽	検査中	H5
愛媛県今治市 （関連農場）	1/4	採卵鶏	約 0.6 万羽	-	-

### ■ [鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

### ■ [令和3年度 鳥インフルエンザに関する情報について（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3_hpai_kokunai.html)

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3\\_hpai\\_kokunai.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3_hpai_kokunai.html)



## たまご知識普及会議 メディア掲載情報

日鶏協ニュースでも紹介している「たまご知識普及会議（※）」の取り組み、「めだま焼き丼」のPRが「めんたいワイド(FBS福岡放送)」に紹介されました。

### 番組概要

番組名 : めんたいワイド (FBS 福岡放送)

放送日 : 12月10日 (金)

時間 : 15:48~19:00

コーナー : 今年&来年のトレンド食

コーナー時間 : 16:00~16:20

コーナーの中で「来年トレンド入りするかも?」という内容で、TNG (たまごのせごはん) 「めだま焼き丼」2~3種が取り上げられました。

### 【番組紹介内容】

- TNG (めだま焼き丼) に注目
- キューピーたまご白書 2021 によると「目玉焼き」が3年連続 NO.1
- そこに目を付けた「たまご知識普及会議」がたまごの魅力を広めようと「めだま焼き丼」のレシピを公開
- 代表例として「ウインナーサラたま丼」「カルボめだま丼」が紹介
- 「めだま焼き丼」は野菜と相性バツリチ！完全栄養食丼



ウインナー  
サラたま丼



カルボ  
めだま丼

※「たまご知識普及会議」：業界他団体等と協力して、消費者へ鶏卵の正しい知識普及活動を推進していくため、日本卵業協会（事務局）・JA 全農たまご・キューピーたまご・日本養鶏協会の4社・団体が協力して活動を行っている取り組みです。

【お問い合わせ】 業務第3部 Tel : 03-3297-5515



## 外部研究会のお知らせ

### 第16回日本たまご研究会(Egg Science Forum 2021)

たまごに見識深い人、たまご研究の発展に興味を持つ人それぞれの専門性の観点から情報交換を図り、たまごの秘密を解き明かすことを目的とし2004年から活動を行っている「[日本たまご研究会](#)」が実施する研究会を下記のとおりご紹介いたします。

各界の専門家による興味深い講演の数々、参加者の方々との情報交換において、きっと役に立つ知識が得られると思います。参加を希望される方は、下記までお問い合わせください。

日時： 2022年3月12日（木）13：20～17：00

主催： 日本たまご研究会

場所： 京都女子大学 B校舎5階 B501教室（定員250名）  
（京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学）  
※コロナ感染状況によってはZoomで同時配信ハイブリッド開催になる場合もあります。

参加費： 当日受付にて2,000円、学生無料

申込方法： 申し込みフォーム（2022年1月31日（月）まで）

<https://forms.gle/g4wBXLmhkUkSVXEv8>

#### 【講演者と演題】

1. 『江戸グルメ本に学べ！万能卵活用術』 基調講演  
伝承料理研究家 学術博士 奥村 彪生 氏
2. 『だし巻き卵のふわふわ感を科学する』  
株式会社林原 藤新 令奈 氏
3. 『スポンジケーキの膨化を科学する』  
九州女子大学 准教授 山本 亜衣 氏  
中村学園大学 名誉教授 吉岡 慶子 氏
4. 『魯山人の卵かけご飯を科学する』  
京都女子大学 家政学部 教授 八田 一 氏
5. 第3回エゴたま表彰 受賞講演 『卵の早期導入と卵アレルギー発症予防の研究』  
浜松医科大学 小児科学講座 夏目 統 氏

【お問い合わせ】 日本たまご研究会事務局 E-mail : nihontamaken@gmail.com  
京都女子大学 八田研究室 担当：八田 Tel : 075-531-7143  
株式会社ナベル内 担当：沖本 Tel : 075-693-5301



## 統計データ

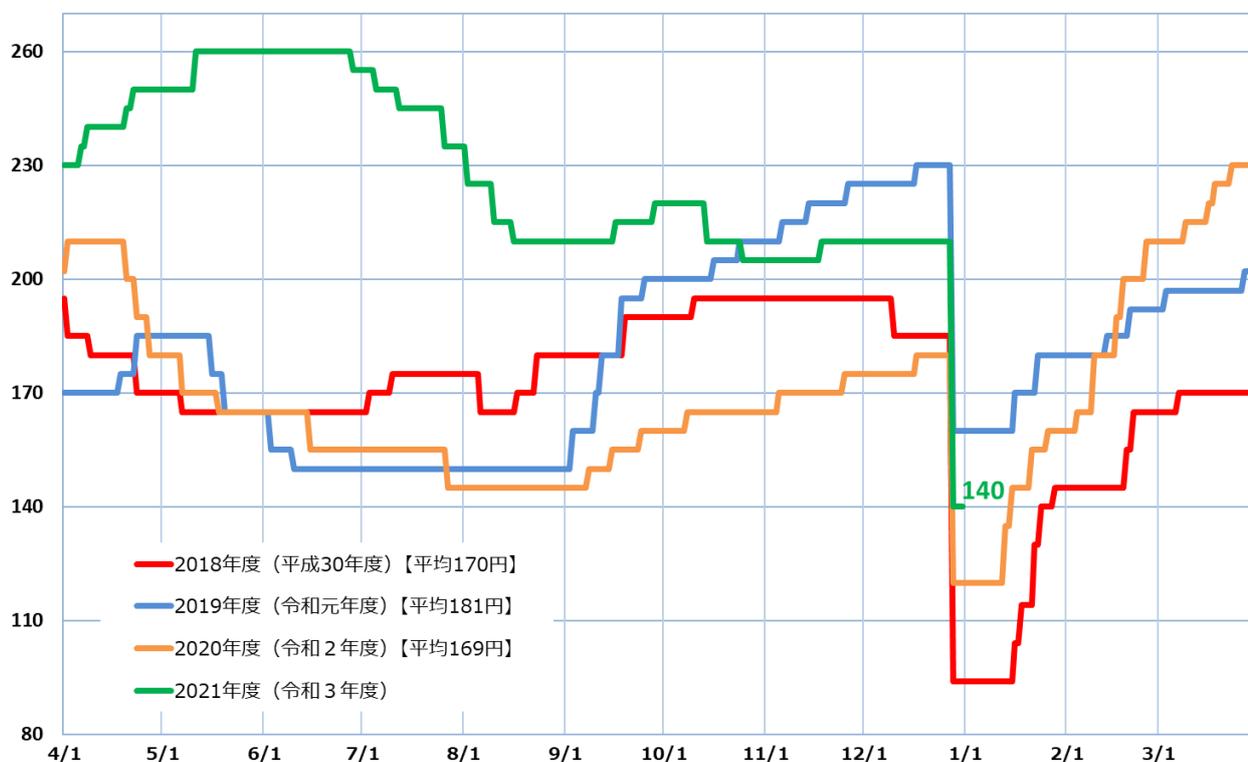
### 鶏卵相場動向 — 過去10年間の12月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成24年	230	248	224
平成25年	280	298	274
平成26年	248	268	239
平成27年	255	273	249
平成28年	245	263	234
平成29年	234	253	224
平成30年	188	213	179
令和元年	227	230	219
令和2年	178	205	169
令和3年	210	230	204
平均値	230	248	222

令和3年12月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値230円は、過去10年の平均値248円を18円下回り、安値204円は、過去10年の平均値222円を18円下回っています。



### 鶏卵相場推移 2018年度～2021年度 東京全農Mサイズ 円/kg



11月下旬の210円から140円まで下がりました。1/5に鶏卵の標準取引価格(日ごと)が137円/kgとなり、安定基準価格159円/kgを下回りましたので、成鶏更新・空舎延長事業が発動になりました。



## 鶏卵関係主要計数 —— 令和3年10月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成鶏用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
2年 11月	8,950	93.3%	472	96.2%	949	107.8%	219	171
12月	8,602	97.0%	529	100.4%	1,007	109.8%	227	178
3年 1月	8,518	83.9%	450	93.4%	951	115.0%	170	142
2月	8,892	104.5%	440	92.8%	920	99.4%	185	183
3月	9,040	89.4%	507	101.1%	943	93.0%	197	220
4月	9,654	103.9%	476	94.5%	978	94.4%	202	241
5月	9,183	95.6%	464	97.5%	1,004	97.4%	168	258
6月	10,083	107.8%	476	100.9%	882	94.3%	160	259
7月	9,867	100.0%	462	95.2%	903	93.5%	153	245
8月	8,140	98.1%	451	101.6%	915	98.3%	145	215
9月	8,924	111.2%	467	102.1%	902	99.3%	153	213
10月	9,696	108.0%	463	94.2%	942	95.9%	164	213
1年間合計 平均(%)	109,549	99.4%	5,657	97.5%	11,296	99.8%	179(平均)	212(平均)

- ・雛餌付羽数は、9,696千羽（前年比108.0%）と前年比8.0%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、463千トン（前年比94.2%）と前年比5.8%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、942グラム（前年比95.9%）と前年比4.1%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の49円高を示しました。

### 協会活動報告

#### 鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

①価格差補填事業の事業参加者との ②令和3年度12月 標準取引価格 207.19円/kg  
契約数量（トン/月当たり）

平成30年度	169,171
令和元年度	167,141
令和2年度	163,160
令和3年度	153,391

③鶏卵価格差補填事業  
補填基準価格 181円/kg  
安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会  
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)  
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2022年1月6日  
編集・発行責任者：浅木 仁志 (info@jpa.or.jp)